

インフルエンザについて

<インフルエンザの症状>

インフルエンザウイルスの感染を受けてから 1~3 日の潜伏期間後、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などが突然現れ、咳や鼻水などの症状がこれに続き、1 週間程で軽快するのが典型的な経過で、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。

<インフルエンザの予防・治療について>

- 十分な睡眠・栄養・保温に心がけ、体調を整える。
- 人混みへの外出をできるだけ避け、帰宅時は手洗い・うがいをする。(タオルは自分専用)
- マスク、ティッシュを常備し、咳エチケットを心がける。(咳やくしゃみが出たら、他人にうつさないため、自分の感染予防のためにマスクを着用する。マスクのない場合はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて 1m 以上離れる。使ったティッシュはゴミ箱へ捨てる。)
- 室内の加湿に心がけ、鼻や粘膜の乾燥を防ぐ。(インフルエンザウイルスは寒さ・乾燥を好む)
- 部屋の窓を開け換気をする。(1 時間に 1 回、3 分間で室内の空気が入れ代わる。)
- インフルエンザの予防接種をする。(予防と重症化防止のために)

インフルエンザにかかったら、早めに医師の診察を受け、安静を保つことにより、肺炎などの合併症を防ぐように心がけましょう。また、周囲の感染を防ぐためにも、医師の許可が出るまでは、学校には登校しないでください。※ インフルエンザは出席停止となります。

- 登校時には、病院で出される証明書または下記の感染性疾患出席停止・許可証明書を病院で記入してもらい、必ず学校に提出してください。

感染性疾患出席停止・許可証明書

愛知県立半田工業高等学校長 殿

年 組 番 氏名

病名 (該当疾病に○印)

- (第 1 種) 1 第 1 種感染症 ()
- (第 2 種) 2 インフルエンザ (型) 3 百日咳 4 麻疹 5 流行性耳下腺炎
6 風しん 7 水痘 8 咽頭結膜熱 9 結核 10 髄膜炎菌性髄膜炎
- (第 3 種) 11 コレラ 12 細菌性赤痢 13 腸管出血性大腸菌感染症 14 腸チフス
15 パラチフス 16 流行性角結膜炎 17 急性出血性結膜炎
18 その他の感染症 ()

上記疾病のため 月 日から 月 日まで 出席停止を要する。

令和 年 月 日

医療機関名
及び医師名